

# 原敬記念館企画展 「戊辰戦争と原敬」

【問】原敬記念館 (本宮四) ☎636-1192

1868(慶応4)年の戊辰戦争開戦から150年の節目にあたり、戊辰戦争が原敬に与えた影響などについて、史料をもとに紹介します。



展示資料：田中北嶺画「秋田戦争絵図」

### 企画展

6月2日(出)~8月19日(日)、9時~17時  
入館料が必要  
1023028

### ギャラリートーク

企画展の見どころなどを解説します。

6月10日(日)・8月19日(日)は13時半~14時15分、7月14日(出)は15時15分~16時

入館料が必要。\*7月14日の講座参加者は無料

### 学芸員講座

企画展のために行った調査の中で判明したことなどを紹介します。

7月14日(出)13時半~15時

先着30人

無料。当日会場へどうぞ

# 漏水の調査・発見に協力を

市は、貴重な水資源の有効利用と道路陥没などの二次災害を防ぐため、年間を通じて市全域の漏水調査を実施しています。

【問】上下水道局 水道維持課 ☎623-1411

### 漏水調査ってどんなことをするのか？

市上下水道局の職員と委託業者の調査員が、道路から宅地内のメーター付近までの配水・給水管の漏水を調べます。調査費用は無料で、建物内には入りません。調査の結果、漏水が発見されたときは、早急に修繕工事を行う必要があります。調査時に不在の際は、郵便受けなどに「漏水のお知らせ」を投函しますので、水道維持課へ至急ご連絡ください。修繕工事について説明します。なお、この調査で物品の販売をすることはありません。



身分証明書

腕章

調査員は「漏水調査員」の腕章または身分証明書を携帯しています。不審に感じたときは証明書の提示を求めると、同課へお問い合わせください

### 「これって漏水？」と思ったら

晴れていても道路がいつも濡れている、きれいな水が側溝をいつも流れている——などの場合、地下の水道管から漏水しているかもしれません。水道管の漏水は、水のごりや断水、道路の陥没・凍結などの原因になるだけでなく、大きな事故を引き起こす可能性もあります。漏水が疑われたらすぐに、同課へご連絡ください。

ごみの減量と再利用について、役立つ情報をお知らせ！

【問】資源循環推進課 ☎626-3733

# 3Rマイスターへの道 VOL.2

今月のテーマ ~覚えて簡単！ 古紙の分別をマスターしよう！~



新聞紙  
ひもで結んで出してください  
※盛岡地域は新聞の整理袋のまま出せます



段ボール  
紙袋に入れると見た目もすっきり！ & 袋ごと資源に！



その他の紙(雑がみ)  
紙袋または透明・半透明のビニール袋に入れ、散乱しないように出してください。  
※都南地域は、雑誌類に挟み、ひもで結んで出してください

### ★「その他の紙(雑がみ)」って何？

- お菓子の箱
- 缶ビールのパッケージ
- トイレトペーパーの芯
- コピー用紙 など

詳しくは、各世帯に配布した収集カレンダーを参考にしてください！



これらは可燃ゴミ

シユレッターにかけた紙くず

はがき 圧着された

写真

封筒のフィルム部分

VOL.1

# Let's enjoy Let's sports!!

本号から6回シリーズで、市が事業運営の支援をしている総合型地域スポーツクラブを紹介します。健康づくりやスポーツを通じたコミュニケーションを楽しんでみませんか。【問】スポーツ推進課☎603-8013

### そもそも 総合型地域スポーツクラブって何？

子どもから高齢者まで、自分の興味や技術レベルに合わせてさまざまなスポーツが気軽に楽しめる地域に根差したスポーツクラブです。心や体の健康づくりはもちろん、町内会などと連携した各種イベントも開催できる身近な場として、それぞれの地域でスポーツ振興やスポーツを通じた地域づくりなどさまざまな活動をしています。

- 市内では、現在6つの総合型地域スポーツクラブが活動中！
- まつぞのスポーツクラブ
- コムスポクラブ東厨川
- 見前地区体育振興会
- いーはとーぶスポーツクラブ
- Bonds クラブ
- 3Dスポーツ



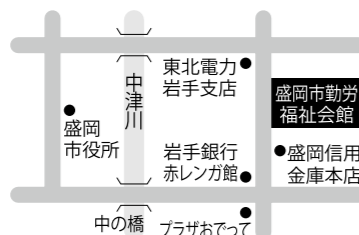
運動不足解消のための体操や、ノルディックウォーキングなどさまざまな教室を開催！

# 盛岡市勤労福祉会館

〈施設貸出のお問い合わせ〉 ☎019-654-3480

- 大ホール ●研修室兼展示室
- 各会議室 ●トレーニング室ほか

【休館日】日・祝 【貸出時間】9:00~21:00



# 高齢社会を豊かにする シルバー人材センター

会員大募集!! 盛岡市内にお住まいの、60歳以上で健康で働く意欲のある方

入会説明会 6月5日(火) / 6月13日(水) / 6月26日(火) 各日 10:00~12:00 ●事前にお電話ください。

【指定管理者】公益社団法人 盛岡市シルバー人材センター ☎019-622-3363 〒020-0885 盛岡市紺屋町2番9号

創業 130余年

# あなたの街の家族葬 エヴァホール

いつでも事前相談を承っております。お気軽にご相談ください。

各種カード支払い可

ふじさわなら葬儀費用の総額を各種カードでお支払い出来ます。\*但し、お布施除く。

盛岡市内に8ヶ所の通夜会館

材木町・材木町別館・青山・高松・本町・都南・松園・本宮

葬儀・通夜の専門会館 (株)ふじさわエヴァホール

〒020-0063 盛岡市材木町3-15(永祥院前) TEL019-624-1000

年中無休 24時間受付

フリーダイヤル ☎0120-100784

### 突撃取材

盛岡競馬場 なりきりジョッキー ポニー乗馬コーナー (4月29日)で聞きました

競馬場に来て どうだった？

お馬さん全然怖くなかったよ！

初めて乗ってうれしかった！

伊東春希くん(6)・天馬くん(5) =北山二=

ポニー乗馬が楽しかった！

競馬場楽しい！

馬が好き

ポニー乗馬は今回2回目！

東山裕太さん(30)・静香さん(29) 桜亮くん(6)・こころちゃん(4) =滝沢市=

阿部力さん(32)・百合恵さん(27) 笑夏ちゃん(4)・羽蘭ちゃん(2) =宮古市=

# もりおか今昔物語 vol.61

西松園で生まれ育ちました。近所には同年代の子どもがたくさんいたので外に行けば遊び相手が必ずいて、暗くなるまで公園で野球やサッカーをしていましたね。松園中央公園で行われる夏まつりも毎年楽しみにしていて、小学生の頃にみこしを担いで町内を回ったのも思い出深いです。子どもだけでなく大人も団結力が強い地域で、市のドッジボール大会で何度も優勝していたのは、大人たちの熱心な指導があったからだと思います。

高校に入ってレゲエ音楽に目覚め、聴くだけでなくライブ出演するようになりました。高校3年の時には進路をどうするか悩みましたが、音楽の道に進むため盛岡を離れました。海外でも盛岡に恩返ししたいと思っています。

音楽で盛岡に恩返しを



関田弘章さん(39) =山王町=

活動をする中で気付いたのが、盛岡人の控え目なところ。でも表現の仕方がうまくなくても、自分の芯となるものをしっかり持っていることが大切だと思います。僕の場合は、仕事の傍ら続けている音楽。ライブ活動の経験を生かして音楽で盛岡を盛り上げ、音楽に関心がある若者の励みになることで、盛岡に恩返ししたいと思っています。

今回は、関田さんが紹介する人が登場します。

# 盛岡の文化財

## 旧齊藤家 (市指定有形文化財)

☎ 渋民字渋民9 (石川啄木記念館敷地内) ☎ 9時~17時 (入館は16時半まで) 無料。同記念館展示室は大人300円、高校生200円、小・中学生100円

【問】石川啄木記念館☎683-2315



### 10秒で知る文化財

石川啄木(1886~1912)が間借りして暮らした旧齊藤家。小説「雲は天才である」も、この家で執筆されました。

### 知識深まる文化財

啄木は、妻・節子との結婚後の明治39年4月、渋民村にある母校・渋民尋常高等小学校の代用教員となりました。その際に家族で間借りをしたのがこの家です。かつては奥州街道沿いの宿場町として町家などが立ち並ぶ場所(現在の場所から約600m南にある愛宕神社の鳥居付近)にありました。啄木は当時の日記に「街の東側の、南端から十軒目、斎藤方の表座敷が乃ち此の我が一家当分の住居なので。」とつづっています。書齋として使用した2階の部屋からは、毎日若手山を眺めたことでしょう。

建物は、昭和45年に石川啄木記念館開館を機に、現在の場所に移築されました。現在は、啄木の後輩である渋民小学校の児童たちが毎年清掃活動を行っています。また毎年開かれる啄木祭では、一家が過ごした六畳一間の座敷でお茶席\*を楽しむことができます。\*今年は6月9日(出)10時~13時に開催

# アグリチャンネル VOL.1

皆さんは買い物をするとき、「盛岡産」を意識していますか。さまざまな農畜産物が新鮮なうちに手に入るの、生産者と消費者が近い盛岡ならではの大きな魅力です。本号から7回シリーズで、盛岡の「食と農」を支える人や現場にクローズアップ。あなたも「盛岡産」を選ばずにはいられなくなるストーリーをお伝えしていきます。

【問】農政課☎626-2270

リンゴがぎゅっ入りしたスイーツ「こぼれるアップルパイ」。果樹農園を持つ(株)サンファームの吉田聡専務取締役と、菓子店「ブル・ドゥ・ネージュ」盛岡緑が丘店(緑が丘四)の菅原淳司シェフが協力して作り上げました。サンファームで収穫されるプラムリーという種は、加熱によりおいしさが引き出される青リンゴで、菅原シェフがその特長を最大限に生かし、これまでのアップルパイとは一味違う酸味とうまみを引き出しました。

菅原シェフは「生産現場や地域食材について知るうちに、生産者の思いにも触られた。それを表現する商品をこれからも創り出したい」と、新たな地産地消の商品開発に意欲を見せています。

吉田さんは「異なる業種とのコラボは、生産者が違う視点で消費者のニーズを吸収することができ、将来の農業経営の方向性を見いだすことにもつながる機会。ぜひ新しいことに挑戦してほしい」と、さらなる縁づくりを模索します。

こうした地域企業の取り組みで生み出された商品が、盛岡産の農産物の認知度を上げるきっかけになるかもしれません。「盛岡産」の商品に、これからも注目してください。



サンファームのリンゴ畑で 吉田さん(左)と菅原さん